



大切なことを求め続けて

校長 藤森克彦

夏休みが終わり、日焼けした子どもたちが元気に戻ってきました。この夏も記録的な猛暑が続き、熱中症による搬送や水の事故などのニュースもありましたが、子どもたちに大きな事故もなく全員そろって始業式を迎えることができうれしく思います。今年は新型コロナウイルスの関係で8月中のスタートとなりましたが、一時の暑さに比べ暑さが和らいできてちょっと安心してるところです。

今日から1週間は、夏休みが短かったことや子どもたちの体調変化の緩和、学習の個別支援等のため、全学年5時間授業とし、その後個別補習等の時間を設けました。新型コロナウイルスの臨時休業もあって授業時間の確保も叫ばれていますが、子どもの側に立って大事にスタートを切りたいと思います。この休みでご心配のこと等がありましたら、担任までご相談いただければと存じます。

さて、今私の手元に「小学生がいる家庭の父親対象のアンケート結果」があります。我が子との付き合い方をタイプ別に聞いています。その結果、1位は、時間があれば一緒に遊ぶ「なかま型」が5割。次に、母親任せで「無関心型」は2割。さらに、叱るときにその役を担う「お小言型」が1割半。そして、勉強は母親だけに任せておけぬ「教育パパ型」が1割未満と続いています。この結果に対するコメントでは、(抜粋)今のご時世、学校以外に塾通いをさせている家庭も多いように見受けられ「教育パパ型」が多いのではと思っていましたが「なかま型」が多かったのは社会(民主主義)のおかげでしょうか、とのこと。なるほど。さらに、アンケートに書かれていた自由意見には「よく遊び、よく学び、なんでも自分でやろうとする意欲をもち、周りの人に深い愛の心をもつ子どもに育ててくれたらと願います」「先生方(大人)と児童との間で、なんだか友達みたいな問答言葉で話しをしている感じがします。もっと規律と威厳があってもよいと思います」「仕事の時間が長すぎて子どもと一緒に遊んでやれないのが一番の悩みです」といったものもあり、『子どもの教育に頭を痛めるおとうさん』というタイトルまで付いています。

実はこのアンケート、この夏休み中に倉庫や校長室を片付けていたときに出てきた「大井第一PTAだより151号」の特集記事に載っていたもので、なんと昭和51年度の発行です。当時小学生だった方は今では50歳を過ぎています。今ならば何となく「なかま型」が一番というのは納得がいきますが、当時も同じだったとは驚きです。

ところで、なかなか旅行や外出ができないこともあってか、この夏は家にいながら手軽にキャンプ気分が味わえる「おうちキャンプ」が流行っていると聞きます。父親・母親にかかわらず、我が子と一緒に何かやれないか、一つぐらい思い出づくりをと思う気持ちは昔も今も変わらないようです。さらに、子どもたちための地域・町会の行事をはじめ、PTAや親児(おやじ)の会のイベント、コミュニティ・スクールとして支えていただいている取組など、今のところ様々な活動が中止せざるを得ない状況で残念でなりません。一部、地域スポーツチームでの練習開始など、感染防止策を十分取りつつ子どもたちのためにご尽力いただいております、本当に頭が下がる思いです。

教育現場では「不易と流行」という言葉をよく使います。豊かな人間性など「時代を超えて変わらない価値のあるもの」(不易)を大切にしつつ、「時代の変化とともに変えていく必要があるもの」(流行)に的確かつ迅速に対応していくことです。まさに先行き不透明な時こそ、いいことは何とか工夫しながら、次世代を担う子どもたちのために我々大人たちは知恵を出し続けていきたいと思えます。

ちなみに、先ほどの45年前のPTA広報誌には特集記事とは別に、「全国的に猛威を振った流行性感冒で、本校でも3日間のうちに次々と学級閉鎖が行われ欠席者数205名を記録しました。お天気のよい日はできるだけ太陽の光を浴びましょう」といった注意喚起が載っていました。光を浴びましょうの部分はいかにもその時代らしいですが、いつの時代も「不易と流行」は繰り返されているようです。

2年 大きくなあれ、おいしくなあれ

2年担任 滝川 幸恵

1年生の手本になろうと頑張り、お兄さん・お姉さんらしくぐんぐん成長している2年生。そんな2年生の子どもたちが生長を楽しみにしていたのが、1学期に生活科の学習で取り組んだミニトマトです。毎朝、登校後の準備が終わるとすぐに「水やりに行って来ます」と張り切って外に出ていき、「花が咲きました」「小さい実ができていました」と嬉しそうに報告していました。市民科「生き物は大切」でも、いのちを大切に育てること、責任をもって世話をすることについて考えました。子どもたちの愛情をたっぷりもらい、それぞれの植木鉢の中ですくすくと育ったミニトマト。夏休み中にどれくらい大きくなったか、どんな実がなったか、自分が育てたミニトマトはどんな味がしたか、たくさんの報告を聞くことがとても楽しみです。

1年 学校を楽しんでいる1年生

1年担任 長澤 美寿々

学校生活に慣れてきた1年生は、学校を楽しんでいます。友達が増え始め、いろいろな子と笑顔で話をしている場面が見られます。休み時間には、校庭を元気いっぱい走り回ったり、遊具で遊んだりしています。校庭のピオトープの周りに集まって、「だんごむしがいるよ」「笹舟ってこう作るんだよ」と自然に親しんでいる子たちもいました。

市民科で挨拶をすることを学んだら、その日の帰りにはみんなで挨拶を交わし合う微笑ましい光景も見られました。何事にも一生懸命に取り組んでいる1年生。多くのことを学び、どんどん吸収していく姿が頼もしいです。2学期も、子どもたちが楽しく学校生活を送ることができるように担任一同支援していきたいと思えます。

委員会活動

市民科部 笹本 聡子

5、6年生は、月に一回委員会活動の時間があります。今年度の委員会は「代表」「集会」「放送」「音楽」「飼育」「図書」「体育」「保健」「給食」「環境」「広報」「国際協力」の12の委員会で構成されています。今年度は新型コロナウイルスの関係で、7月に第1回目の委員会が行われました。1・2学期は6年生、3学期は5年生の委員長を中心として活動します。よりよい学校を作っていくためにそれぞれの委員会で行っていききたいことややるべき活動について話し合い、自分たちで決めた仕事に責任をもって取り組んでいく力を育てます。全校児童の学校生活が良くなるために仕事を行っているという意識をもって、それぞれの委員会でアイデアを出し合い、力を発揮していけるよう指導していきます。

クラブ活動

市民科部 岩本 未央

クラブ活動は、年間8回、4～6年生と一緒に活動する時間です。今年度は、バドミントン、卓球、サッカー、野球、屋上遊び、読書・本作り、手芸、音楽、パソコン、図工、研究、科学、ダンスの13クラブで行っています。

第1回目に各クラブで自己紹介をし、活動計画などを話し合いました。2回目からは、クラブ長を中心に自分たちで自主的、自治的に活動を行います。4年生は初めてのクラブ活動なので楽しみにしている子や緊張している子など様々でした。そんな4年生を5、6年生は温かく迎え入れていました。異学年集団での交流を深め、共通の興味・関心を追究することで、自分のよさをのばしていくことを期待しています。

6年 最高学年として、できること

6年担任 菊池 未希子

7月28日(火)に学年行事として感染に気を付けながら4色対抗の綱引き大会を行いました。今回は梅組が主催を担当し、実行委員が中心となり企画運営を行いました。他のクラスへのルール説明では、伝わりやすいようにとプレゼン資料を事前に作りました。今までやったことのない競技を通して、学年の交流を深めました。全員が一つのものに熱中する経験を1学期にできたことを嬉しく思いました。

また、終業式の日には、「学校をきれいにしよう」と学年全員で教室だけでなく、学校の清掃をしました。校長や用務主事が連日校内を掃除しているのを見ている子どもたちから提案がありました。最高学年として、自分で掃除場所を探し、すすんで取り組むことができていました。4クラスの子もたちが一斉に掃除をしている姿が立派でした。

5年 これまでの成長、これからの成長

5年担任 川口 祐一

5年生は、新たなクラスで緊張や不安に思う中、少しずつ仲間との距離を縮めた1学期でした。思春期を迎える年齢として、ストレスや悩みの要因や上手に解消させる方法を学んだり、国語の物語作品を通して、大人から自分が子ども扱いされることへの不満を共感し伝え合ったりと、『11歳の自分』と正面から向き合うことができました。

2学期は、一層高学年という立場を自覚し、学習面・生活面ともに、目の前のことを一つ一つ丁寧に確実に実践し、成長を促していきます。時間を守る力、話を最後まで聞く力、決まりを守る力、任された仕事は最後までやり遂げる力。成功のための失敗はしっかりと認め、133人で励まし合い実りの多き2学期になるよう、担任4人温かい目で支えていきます。大いにご期待ください。

4年 10歳の節目の1年間

4年担任 村上 剛

4年生は10歳を迎えます。高学年に向けて大事な1年となります。4月からの休校で心配をしていましたが、とても良いスタートを切ることができました。夏休み前には頑張ったご褒美として校庭で「水鉄砲大会」を行いました。密を避けるため、各学級単位での実施でしたが、終了後には素早く(名残惜しさも我慢し…)忘れ物なく教室に戻ることができました。こういう姿が素晴らしいと感心しました。

さて、2学期は「実りのある秋」にしたいと考えています。学習面はもちろん、生活面も含めて、誰もが安心できる学級を子どもたちと作っていきます。また、「おもしろいなあ」「楽しいなあ」と充実感のある授業を実施していきます。そして最終的には、まとまりのある学年集団を目指していきます。2学期もよろしくお願い致します。

3年 暖かく直向きな心の3年生

3年担任 藤田 貴城

いつも元気いっばいの3年生は、夏休みを経て更にパワーアップして学校を楽しんでいます。友達の名前を呼び合う姿が増え始め、いろいろな子と仲良く過ごそうとしている場面が見られます。休み時間には、屋上や校庭を汗だくになりながら走り回ったり、校舎内で読書やお話をしたりして遊んでいます。

市民科で「心と心をつなぐ」を学習してから、友達にどんな言葉を掛けるといいのか。また、どんな風に言葉を返せばいいのか。互いに気持ちよく過ごすにはどうしていくといいのか考えながら関わり合う姿が見られます。学んだことをすぐにやってみようという前向きな姿に感心しています。これからも、子どもたちが楽しく元気に学校生活を送ることができるよう、担任一丸となって指導や支援をしていきたいと思ひます。



年間重点生活目標「大一ABCを身に付けよう」

今月の生活目標

生活のめあて	廊下は静かに歩く ～廊下は静かに歩きましょう～
保健のめあて	ハンカチとちりがみを身に付けよう
給食のめあて	正しく配ぜんしよう



8月、9月の行事予定

日付	曜日	主な行事	日付	曜日	主な行事
8/24	月	始業式(放送)	12	土	
25	火	ふれあいタイム① 内科検診(3・5年)	13	日	
26	水		14	月	計測(2年)
27	木	ふれあいタイム② 内科検診(1・4年)	15	火	放送朝会 計測(1年)
28	金	ふれあいタイム③ 内科検診(6年)	16	水	
29	土		17	木	腎臓検診(2次①)
30	日		18	金	フレンドタイム① 腎臓検診(2次②)
31	月	腎臓検診(1次①)	19	土	
9/1	火	放送朝会 腎臓検診(1次②) 耳鼻科検診(2・4年)	20	日	
2	水	計測(6年)	21	月	敬老の日
3	木	内科検診(2・5年)	22	火	秋分の日
4	金	内科検診(3年) 委員会②	23	水	視力検査(2年)
5	土	土曜授業 引き渡し訓練	24	木	視力検査(1年)
6	日		25	金	フレンドタイム② 視力検査(3年)
7	月	学級保護者会(5・6年) 計測(5年)	26	土	
8	火	放送朝会 学級保護者会(3・4年) 耳鼻科検診(1・6年)	27	日	
9	水	計測(4年)	28	月	視力検査(6年)
10	木	学級保護者会(1・2年) 心臓検診(1年)	29	火	放送朝会 視力検査(5年)
11	金	計測(3年) クラブ活動②	30	水	視力検査(4年)

生活指導部より

生活指導部 片岡 菜月

生活のリズムを整えて心も体も健康に

今日から2学期が始まります。今年の夏は暑さが危険レベルに達する日が多く、熱中症が心配でした。また、暑さに加え新型コロナウイルス感染症にかかわるニュースが連日流れ、不安やストレスを感じる方も多かったと思います。そんな中、全員が無事に夏休みを過ごし、登校してきたことに安心しました。

2学期が始まり、新しい目標に向け、やる気に満ちた人がいる一方、授業中にぼんやりしたり、体調不良を訴えたり人も出てくるでしょう。まずは、規則正しい生活を取り戻すことに取り組むことが大切です。生活のリズムが整うことで、「ストレスレベルを低下させる」「頭の回転が活発になる」「免疫力が高まる」というメリットがあるそうです。家庭と学校で連携を図り、2学期も安全に健康に学校生活が送れるようご協力をお願いいたします。

「ルーコラム」かかわる・創る

1年 岸田 淳生

新型コロナ感染の影響による長い休校が明け、実際に教室に集まって学習することが、とてもかけがえない時間であると感じました。6月の分散登校が始まったとき、子どもたちはやや緊張しながらも笑顔で登校してきました。7月になり一斉登校が始まったときも、笑顔でした。同じ空間で、同じ空気を共有する安心感がありました。

授業はライブであると思うのです。教師は子どもたちの反応や空気で言葉や言い方を調整します。盛り上げればその部分を厚くしたり、反応がよかったキーワードを繰り返して使ってみたりします。児童は、教師の話や友達の考えを聞いて自分の考えと比べたり、自分の考えを深めたり広げたり、話し合っって考えを練ったりしながら、学習を進めます。そうやって教師と児童で創り上げていくことでよい授業になっていくものなのです。これからも、よい授業を創っていきたいと思います。